

事業番号	10 05 12	事業改善シート (25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	野生鳥獣保護管理体制整備事業				担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト	1-4森林を活かす力強い林業・木材産業づくり			課・室	森林づくり推進課 鳥獣対策ジビエ振興室		
	施策の総合的展開	4様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進			E-mail	choiu@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	H16 ~		

1 事業の概要

目指す姿	野生鳥獣との緊張感ある棲み分けと野生鳥獣による農林業被害の軽減を図るため、被害防除・捕獲・生息環境の各対策を総合的に実施するための体制を整備する。 達成目標: 捕獲者(有害鳥獣の捕獲に従事する者)数の確保3,506人(H22) → 3,900人(H27)					
現状	○野生鳥獣の農林業被害はここ数年微減傾向であるが、依然として高い状況。平成24年度農林業被害額12億6千万円 ○狩猟者は高齢化等により年々減少し、捕獲の担い手確保が課題。狩猟登録者数6,427人(H19) → 5,925人(H24)					
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 県の専門的な組織により、県域を対象に人材養成することが効果的である。【環境省「鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針」】				
事業内容	① 成果目標 (H25)					
	○クマ対策員の確保 4人: 県下4地域に配置 ○基礎研修、実技研修等の開催 5回					
事業内容	② 事業内容 (単位: 千円)					
	項目	実施方法	H25事業実績		H26	
			(当初)	(決算)	(当初)	
	1.野生鳥獣保護管理人材養成事業	直接	・野生鳥獣の生態、被害防止対策等の基礎研修、実技研修	1,027	817	1,050
	2.クマ対策員配置事業	委託	・専門的な知見を持つクマ対策員の配置	6,117	6,104	6,237
	(3.クマ麻酔施用従事者確保事業)	直接	・クマ放獣に用いる麻酔を扱える有資格者の確保			264
	4.狩猟環境整備支援事業	補助金・交付金	・狩猟技術向上のためのキジ放鳥事業への支援	1,015	1,015	1,015
	5.新規ハンター確保対策事業	補助金・交付金	(・新規狩猟者を対象とした免許取得から実猟参加までの指導・支援) ・新規銃猟者の確保・育成経費への支援	750	385	750
		・銃猟者の育成に資する射撃場整備への支援	2,000	2,000	61,592	
6.関係機関調整・現地指導	直接	・国等との打合せ、緊急時の対応・指導等	769	702	731	
		合計	11,678	11,023	74,744	

事業	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度	成果目標の達成状況				
	前年度繰越					項目	H24末(実績)	H25		H26
予算額	当初予算	11,700	11,373	11,678	74,744		目標	成果	達成状況	目標
	補正予算					クマ対策員数	4人	4人	達成	4人
コスト	合計(A)	11,700	11,373	11,678	74,744	基礎研修、実技研修等の開催	5回	5回	達成	5回
	国庫支出金				64,697					
	県債				120					
	その他(繰入金)									
	一般財源	11,700	11,373	11,678	9,927					
決算額(B)	11,700	11,373	11,023							
概算人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00					
概算事業費(B)+C)	概算人件費(C)	8,258	8,258	8,258	8,258					
	概算事業費(B)+C)	19,958	19,631	19,281	83,002					

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> クマ対策員を県下4地域に4人配置し、錯誤捕獲後の処置や緊急出沒に対応した。 野生鳥獣に関する基礎研修、専門研修を開催し、職員のスキルアップが図られた。
今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
今後、事業をどのようにしていきたいか	引き続き、被害防除・捕獲・生息環境の各対策を総合的に実施するための体制整備図っていく。